

令和4年 中学部(数学)年間指導計画

教科・領域名		数学	学年	1年	
作成責任者			教育課程・類型	II 課程A類型-aグループ	
教科観の点別標	知識及び技能	・数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。			
	思考力判断力表現力等	・日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。			
	学びに向かう力人間性等	・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月	44	(時計) ・時刻と時間	(知及技)1分単位で時計を読むことができる。 (学・人)日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。 (知及技)時間の単位が分かる。	・時計の読み方、学校の日課表、開始や終了時刻の表示(模擬時計) ・〇分前や〇分後、時間の計算 ・午前と午後 ・1時間=60分、1分=60秒
	7月		(図形) ・直線 ・長さの単位 ・定規の使い方 ・三角形と四角形	(知及技)ものさしを使って直線が引ける。 (知及技)cmからmmへの変換やmからcmへの変換ができる。 (知及技)形の名称が分かる。 (思判表力)図形の特徴が分かる。	・ものさしの使い方、長さの測り方 ・1cm=10mm、1m=100cm ・身の回りにある物の形 ・頂点と辺の数 ・直角三角形、二等辺三角形、正三角形
二学期	9月	56	(測定) ・重さやかさの測定	(知及技)計器を使って、重さやかさの測定ができる。 (思判表力)測定する物を見て、計器の選択ができる。 (知及技)重さやかさの単位がわかる。	・計器の使い方、測定の仕方 ・計器選択の仕方 ・重さの単位(g、kg、t)、単位の変換 ・かさの単位(LやdL等)、単位の変換
	12月		(数と計算) ・大きな数 ・金銭 ・買い物学習	(学・人)4位数までの大きな数を表記できる。 (知及技)数種類の硬貨が混ざった金額が分かる。 (学・人)買い物学習では、支払いやおつりの計算ができる。	・位取り、大きな数の表し方 ・硬貨や紙幣の種類、金銭の数え方、両替 ・模擬買い物、計算機の使い方
三学期	1月 3月	40	(データの活用) ・表やグラフの作成 ・グラフの活用	(知及技)データを分類し、表や棒グラフ、折れ線グラフで表すことができる。 (思判表力)グラフから、事柄の違いや多少が分かる。	・データの分類方法、グラフの作成方法 ・グラフの見方、比べ方 ・データによる、表やグラフの選択
年間を通して			(数と計算) ・数の数え方と表し方 ・数の大小 ・足し算と引き算 ・かけ算 ・わり算 ・計算機の活用 ・分数 ・小数 (測定) ・カレンダーワーク	(知及技)3位数程度の数の概念や表し方が分かる。 (知及技)筆算を用いて、2位数程度の足し算や引き算ができる。 (知及技)かけ算九九が分かる。 (思判表力)同じ数ずつ分けられることができる。 (思判表力)割り算の意味が分かる。 (学・人)計算機を使って計算ができ、生活の場面で活用することができる。 (知及技)1/2、1/4など簡単な分数について知ることができる。 (知及技)身の回りの小数であらわされる数について知る。 (学・人)暦の見方が分かる。 (学・人)学校行事と関連付けられることができる。	・数詞、数順、位取り ・2つの数を比べよう ・足し算、引き算、筆算式の作り方 ・かけ算九九の暗唱、iPad学習 ・同じ数ずつ分けよう ・ひとり分の個数 ・計算機の使い方 ・「2つに等分した大きさの1つ分」が1/2 ・体温、身長、体重 ・日付の読み方、公休日の確認 ・先週、今週、来週、先月、今月、来月 ・今月の行事、行事まであと〇日
年間授業時数			(140)時間		

令和4年 中学部(数学)年間指導計画

教科・領域名		数学		学年	1年
作成責任者				教育課程・類型	II 課程A類型-bグループ
教科観の点別標	知識及び技能	・数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。			
	思考力判断力表現力等	・日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし考察する力、数学的に事象を表現する力を養う。			
	学びに向かう力人間性等	・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
一学期	4月	44	(数と計算) ・数の数え方と表し方	(知及技)2位数から3位数までの数の概念や表し方が分かる。	・数詞、数順、位取り
	7月		(測定) ・時刻や時間	(知及技)数の順序や大小が分かる。 (知及技)時刻の単位がわかり、時計の時刻を読むことができる。 (学・人)時刻や時間の計算を日常生活に生かすことができる。	・(具体物を使って)2つの数を比べよう ・○時、○分、○秒 ・時計の読み方 ・学校の日課、休み時間、自分の活動計画
二学期	9月	56	(図形)(測定) ・直線	(知及技)ものさしを使って直線が引ける。 (知及技)長さの測定ができる。	・ものさしの使い方 ・長さの測り方
	12月		・三角形や四角形 ・重さやかさの単位 ・重さやかさの測定	(知及技)形の名称が分かる。 (思判表力)図形の特徴が分かる。 (知及技)重さやかさの単位を使って、表記できる。 (知及技)計器を使って、重さやかさの測定ができる。 (知及技)測定する物を見て、計器の選択ができる。	・身の回りにある物の形、標識 ・頂点の数と名称 ・gやkg、dLとL ・計器の使い方、測定の仕方 ・計器選択の仕方
三学期	1月	40	(データの活用) ・表やグラフの作成	(知及技)データを分類し、表や棒グラフで表すことができる。 (思判表力)グラフから、違いが分かる。	・データの分類方法、グラフの作成方法
	3月		・グラフの活用		・グラフの見方、比べ方 ・データによる、表やグラフの選択
年間を通して			(数と計算) ・整数の加法および減法 ・整数の乗法 (測定) ・時間や時刻	(知及技)加法や減法が用いられる場面を式に表すことができる。 (知及技)筆算を用いて2位数の足し算や引き算ができる。 (知及技)乗法が用いられる場面を式に表すことができる。 (知及技)乗法九九を活用して、1位数と1位数のかけ算ができる。 (学・人)今日、昨日、明日の日付が分かる。 (学・人)暦の見方が分かる。	・「合わせて」「全部で」「残り」の言葉の意味 ・記号の練習、式の作り方、答えの求め方 ・筆算の見方、位取り ・加法と乗法の関係、違い ・乗法九九 ・日付の読み方 ・カレンダーの見方 ・曜日や公休日
年間授業時数			(140)時間		

令和4年 中学部(数学)年間指導計画

教科・領域名		数学	学年	1年	
作成責任者			教育課程・類型	Ⅱ 課程A類型-cグループ	
教科観の点別目標	知識及び技能	・数量や図形などについての事象を、数理的に処理する技能を身に付けるようにする。			
	思考力 判断力 表現力等	・身の回りの事象を数学的に考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質に気付き、数学的な表現を用いて事象を簡潔に表現する力を養う。			
	学びに向かう力 人間性等	・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	月	時数	単元名	単元の目標	学習内容
通年	4月 ～ 3月	70	(測定) ・時刻や時間	(思判表力) 暦を見て今日の日付と同じ数字カードを選ぶことができる (知及技) 曜日が分かる。 (学・人) 学校行事と関連付けることができる。	・数字マッチング、日付の読み方 ・時間割、公休日の確認 ・今月の行事、行事まであと◇日
			(数と計算) ・順序や位置	(知及技) 上下左右が分かる。 (知及技) 身のまわりのものの前後がわかる。	・靴箱やロッカー、棚の場所 ・並び方(整列)
			(分類) ・仲間分け	(思判表力) 同じ色を選ぶことができる。	・色つき形カードの色分け
			・似ている物の分類	(思判表力) 道具などを分類して整理することができる。	・カードの整理、道具の整理・片付け
			(数と計算) ・1対1対応	(思判表力) 1つの物に1つの物を対応させることができる。 (知及技) 5までの数字を順番よく数えることができる。	・配布、ペアリング ・具体物を用いた1対1対応
			・数順	(思判表力) 5までの数字と量を一致させることができる。	・数字の歌、数カード
			・数と量	(思判表力) 数の大きさがわかる。	・数とブロックの対応
			・数の大小	(知及技) お金の種類が分かる。	・硬貨や紙幣の種類、買い物学習
			(図形) ・形の分類	(思判表力) 同じ形に分けることができる。 (知及技) 丸、三角、四角の名称が分かる。	・型はめ、形カードの仲間分け ・形カード、身の回りにある形探し
			・図形の名称	(思判表力) 2つのものを比べて、大小が区別できる。 (思判表力) 2つのものを比べて、長短が区別できる。	・絵カード、積み木、身長比べ ・鉛筆や消しゴムなどの長さ比べ
(測定) ・物の大小	(思判表力) 2つのものを比べて、大小が区別できる。 (思判表力) 2つのものを比べて、長短が区別できる。	・絵カード、積み木、身長比べ ・鉛筆や消しゴムなどの長さ比べ			
・長さ	(思判表力) 2つのものを比べて、大小が区別できる。 (思判表力) 2つのものを比べて、長短が区別できる。	・絵カード、積み木、身長比べ ・鉛筆や消しゴムなどの長さ比べ			
(データの活用) ・グラフで使う記号の理解	(知及技) ○、×の意味が分かる。	・具体例の表示			
・グラフの作成	(思判表力) 表に○、×の記入ができる。 (思判表力) グラフを見て、○や×の数が分かる。	・表の記入の仕方			
・グラフの読み取り	(思判表力) グラフを見て、多い少ないが分かる。	・表の見方 ・ゲーム(結果)			
年間授業時数		(70) 時間			